



2011年 8月 2日

みなさん、こんにちは。残暑お見舞い申し上げます。節電の夏、みなさんはどのような工夫をされていますか？

● 山下清作品解説 in 会議室

30日(土)、学芸員による作品解説を実施しました。
混雑回避のため、今回は会議室でプロジェクターで作品
をご覧いただきながらの解説でした。ぞくぞくと人が集まり、
のべ97名の皆さまにご参加いただきました。

作品の隅に書かれているサイン。ちぎり絵を始めた当初
はなく、清は画家として認められるようになってから入れ始
めたのだそうです。また、驚異的な記憶力で作品を仕上げ、
放浪中はスケッチブックを持ち歩かなかった清ですが、ヨー
ロッパへの取材旅行では初めて行く土地だから思い出せな
くなり作品にできなかつたら自分は怠け者だと思われてしま
うと考え、この時は持参することにしたのだそうです。

最初は身近なものがモチーフでしたが、有名な作品の模写(右
上画像)や多くの作家がとりあげたモチーフにも挑戦した山下清。
独自のコヨリを作品に使うなど、制作を重ねるなかで、貼絵の技
術にも工夫が加えられていったそうです。

終了後は展示室で作品をじっくりご覧いただき、そのような変遷
を感じていただけたのではないのでしょうか。



解説の様子／山下清が伊藤若冲の「群鶏図」を模写した作品

【作品解説の日程】

- ・8月7日(日) 午後2時～2時30分
 - ・8月19日(金) 午後2時～2時30分
- ※当日自由参加

● 早くも1万人！！（『山下清展』）

先月29日(金)、『山下清展』の来場者が1万人を突破しました！初日からの3連休
には3千人近くの方が来られたため、早い段階で1万人超えは予想できましたが、ま
さかの7月中の達成です！

1万人目の来場者は、垂水区在住の石本さんご夫妻。記念品の図録やフォトフレーム
などを手にして、にこやかに撮影に応じて下さいました。

今回は幼児から年配の方まで年齢層が本当に幅広く、親しみやすい山下清の作品に
惹きつけられる人がいかに多いかがわかります。細かく色紙が貼りつけられているので、み
なさんじ〜っと近づいてご覧になっていますが、寄りすぎにはどうぞご注意くださいね。



『山下展』開場前で記念撮影

「涼むのに博物館に行こう！」と考える方が、今年はいくつかもかもしれません。しかし、『山下展』の会場は熱心な観覧者の熱気(?)が感じられます。おススメの時間帯は、開館からの1時間と夕方以降です。